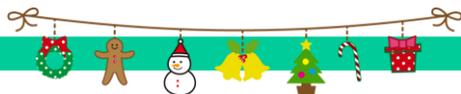


学校だより 浅海



2020
12

松山市立浅海小学校
2020.12.4



浅海のよさ、再発見！

校長 桐山 真美



先月、とある教育講演会にスタッフとして参加したときのことで、その日の講師であり、テレビやラジオの司会等でご活躍中の、やの ひろみ 様とお話をする機会がありました。私が「浅海小に勤務しています。」と自己紹介すると、やの様から、「先日、浅海を取材に行ったばかりですよ。」という話をうかがいました。ローカルニュースの取材で、地域の方と交流したり、コスモス畑を見に行ったりしたとのことでした。「環境も地域の方もすばらしかったです。」とおっしゃるやの様に、私も「そうです！そのとおりです！」と大いに賛同しました。

後日、ニュースを見ていると、言われたとおり、浅海が紹介されていました。自然豊かな様子や温かい地域の方々の様子がよく分かる内容でした。ニュース後には、取材のあったコスモス畑を訪ねる人が増えたというお話も区長さんからうかがいました。浅海のよさを多くの方に知っていただき、地域にかかわりのあった方々には浅海のことを思い出していただくよい機会となったのではないのでしょうか。

さて、もう12月。コロナ禍に明け暮れ、おそらく、今後の歴史の年表に刻まれることになるであろう2020年も、残りあとわずかです。

毎年、12月10日は「世界人権デー」で、その前後を「人権週間」として関係諸機関が様々な取組を行います。本校でも、その一環で、11月末に「人権参観日」を実施しました。（詳細は裏面をご覧ください。）

今年は、より一層、相手を思いやり、心のつながりを大切にすることの必要性を感じます。

先述した、やの ひろみ 様も、感染された方や医療従事者が、それぞれの場所で「ただいま」「おかえり」と受け入れられる雰囲気をつくり、思いやりがある暮らしやすい社会を目指す「シトラスリボンプロジェクト」を推進しておられます。興味のある方は、WEBで「シトラスリボンプロジェクト」をご検索ください。（<https://citrus-ribbon.com/>）

人権参観日

11月28日(土)は、人権参観日でした。新型コロナウイルス感染症予防のため、今年度は、小学校保護者のみの参加となりました。授業の様子をお家の方に見ていただくのは本年度2回目ということで、子どもたちは張り切って学習に取り組みました。



1・2年生は道徳「はしの上のおおかみ」を学習しました。役割演技などを通して登場人物の気持ちに共感し、相手を思いやり、親切にすることの大切さについて考えました。



3年生は学級活動で「いいところみつけ」をしました。友達のいいところを見つけ、伝え合うことを通して、お互いを認め合うことの大切さを学びました。



4年生は学級活動で「こんなときどうする」をしました。いろいろな場面で、どう行動したらいいのかを考えることを通して、正しい判断の大切さを学びました。



5・6年生は学級活動で情報モラル学習「気持ちが伝わる伝え方」をしました。SNSでの正しいコミュニケーションのとり方について学びました。

音楽・獅子舞発表会

本年度は、北条ブロック音楽発表会やお祭りでの獅子舞発表ができませんでした。そこで、授業後に体育館で5・6年生による合奏「八木節」と浅海小郷土クラブによる獅子舞、全校合唱の発表会をしました。たくさんの保護者の方の前で、日頃の練習の成果を発表することができ、子どもたちは満足そうでした。

